

# ポンプアップ槽 LP130-5 施工・組立要領

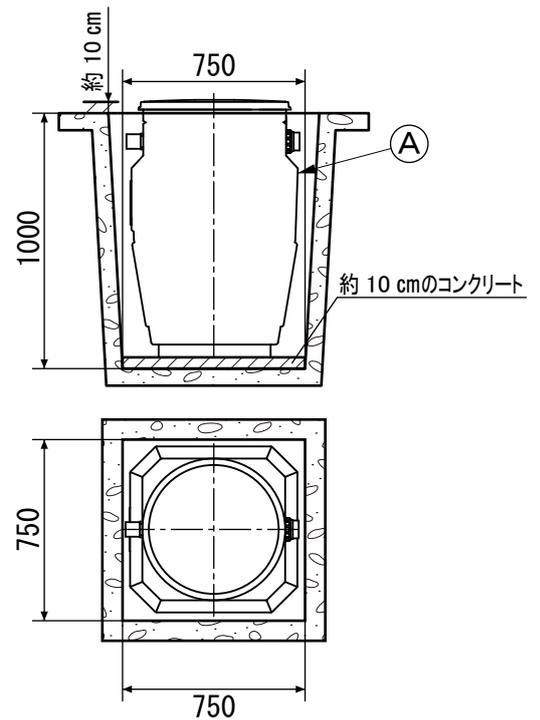
## 槽本体 施工要領

槽本体は下記手順に従って施工して下さい。

配管の組み立ては、パイプの接着面の汚れを落とし塩化ビニール用の接着剤にて組み立てて下さい。

ポンプに関しては、ポンプが入っていたケースに同封してある説明書をご覧ください。

- ① 穴掘作業は右図にしたがって掘って下さい。
- ② 槽の基礎には必ず 10 cmのコンクリートを敷いて下さい。(標準施工時)
- ③ ポンプの配管を組み立てて下さい。(配管組立手順参照)
- ④ ポンプアップ槽を穴の中へゆっくりと降ろして下さい。  
(湧水がある時は、水中ポンプで排水して下さい。)
- ⑤ 流入口及び排水口を配管して下さい。  
排水口から先の配管は流水勾配にして下さい。
- ⑥ コード口からコードを出した後は防水処理をして下さい。
- ⑦ 配管の接着が完全に固まりましたら、ポンプの電源を切った状態で、槽の中に水を流入口の下レベルまで入れ、埋め戻しの時の浮き上がり防止をして下さい。
- ⑧ 埋め戻しは、柔らかい土又は、細かい砂にて行って下さい。  
(石、ガラス等、堅いものにあたると、槽に穴があくことがあります。)
- ⑨ マンホール枠を厚さ 10 cm、1.2m×1.2mのコンクリートで固めて下さい。
- ⑩ コンクリートが固まりましたら、槽の中に異物がないのを確認してからポンプの電源を入れ、槽の水が排水されるのを確認して下さい。
- ⑪ マンホールの蓋を閉め、ロックして下さい。



## ■ 部品構成

記号	部品名	Sタイプ	Wタイプ
(A)	本体 (マンホール付)	1	1
(B)	チャッキセットW型	—	1
(C)	チャッキセットS型	1	—
(D)	横引管セット	1	1
(E)	調整管	1	2

## 配管 組立手順

配管は下記手順に従って組み立てて下さい。

- ① 調整管 (E) 下端のテーパネジにシールテープを巻き、ポンプのネジ部にしっかりネジ込みます。
- ② ポンプにロープを掛け、槽の中に静かに降ろします。
- ③ 調整管 (E) の上部にチャッキセットW型 (B)(Wタイプの場合) あるいは、チャッキセットS型 (C)(Sタイプの場合) を取付けます。
- ④ 横引管セット (D) を排水口側に取付けます。
- ⑤ ポンプの位置を調整して、ユニオン (D) のネジをしっかり締めます。
- ⑥ ポンプコードの電源をつなぎ、槽に水を入れ、ポンプの作動と水漏れが無いかを確認すれば、組立完了です。

※注1 配管の接着部は、継手とパイプ両面に塩ビ系接着剤を塗り差し口深さいっぱい迄しっかり押し込んで下さい。

## ■ 組立略図

